



2025年 7月10日
第4号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第15号

「横浜線ワンマン運転について」に関する解明申し入れ 【全27項目】団体交渉を行う！②

YOKOHAMA LINE

3. ワンマン運転に伴う駅設備等の詳細と変更点について明らかにすること。
【会社回答】必要な設備については整備していく。

組 合	会 社
ワンマン運転に伴う設備の変更はあるのか。	車両に映像を飛ばす ミリ波送受信機 と 乗降確認用カメラ を各駅に整備している。また、ワンマン運転には必須ではないが ホームドアの設置 も行っている。
ワンマン運転開始後、車掌用 I T V、発車ベル、レピーターの撤去は考えているのか。	<u>使用しない設備はスリム化の観点から撤去の方向で検討している。</u> ポイント！
ワンマン運転開始後、矢部駅のような始発から5：30まで遠隔対応を行っている委託駅でも、早朝駅社員が不在の時間に異常時等が発生した場合に対応できる体制の構築を要請していく考えはあるのか。	ステーションサービスに関する部分について、必要な部分はステーションサービスとコミュニケーションを図ることになる。

4. ワンマン運転導入までのスケジュールを明らかにすること。具体的には、ワンマン運転を行う運転士の教育・訓練スケジュールと内容について明らかにすること。合わせて、ワンマン運転トライアルにも影響する観点から、現時点におけるホームドア未設置駅へのホームドア設置スケジュールを明らかにすること
【会社回答】横浜線におけるワンマン運転の実施は2026年春を予定している。なお、ホームドアについてはワンマン運転を実施するまでに整備する考えである。

組 合	会 社
トライアルを含めた教育スケジュールについて、現時点の考えを示すこと。	9月から営業列車を使用した A T O 訓練・ワンマン運転トライアルの実施を予定している。並行して、机上やシミュレーターならびに現車を使用した訓練も実施する。
南武線で実施した訓練のフィードバックを考えているのか。	現在も指令・南武線オフィスとコミュニケーションを図り、フィードバックできる部分については行っている。 <u>指導員や同等の知識を有した方（P T メンバー）も含めて、南武線と同様に指導員を付けて訓練を実施していく考えである。設備の工事スケジュールを見ながら行っていく。</u> ポイント！
横浜線内、具体的には町田～橋本間など、できるところからだけでも早急にトライアルを開始する考えはあるのか。	カメラの画角の最終調整を行っていて、まだ終了していない箇所もある。
ホームドア設置スケジュールを明らかにすること。	3月にプレス発表しているが、 <u>ワンマン運転開始までには全駅に整備する考えである。</u> ポイント！
南武線ワンマン解明交渉においては「ワンマン運転にホームドア整備は必須ではない」と回答されていたが、プレス発表において長編成ワンマンではホームドア設置をセットにして示している。ホームドアが完備されていなくても、ワンマン運転を実施することはあり得るのか。	そうならないように設置スケジュールを組んで整備を進めている。

【会社回答のポイント】

- ・使用しない設備はスリム化の観点から撤去する方向で検討している。
- ・指導員と同等の知識を有した方も含めて、南武線と同様に訓練を実施していく考えである。
- ・ワンマン運転開始までには全駅にホームドアを整備する考えである。

次号③へ続きます。